

2021 CUC中小企業マネジメントスクール

経営革新を推進するセミナー受講生募集!

テーマ

「有用の学術と商業道德の涵養 産学における 問題発見解決への新たな地平」

企業や組織のマネジメントに携わる経営者・実務家、
起業を目指す学生・社会人に向けた中小企業経営の革新と
創造的リーダーの育成を目指すセミナー

開催日時: 9月11日(土)・10月9日(土)・11月13日(土)・12月11日(土)

全4回/各回15時30分~17時30分

- 定員 — 50名(最少実施人数20名)
 受講料 — [全4回参加の方]8,000円(税込) [単発でご参加の方]3,000円(税込)/1回
 会場 — 千葉商科大学(アクセス参照) ※公共交通機関をご利用ください。
 申込締切日 — [全4回参加の方]9月7日(火) [単発でご参加の方]各回開催日4日前の火曜日
 申込詳細 — 本学Webページ「CUC中小企業マネジメントスクール」をご覧ください、
 お申込みフォームからお申し込みください。

千葉商科大学 CUC中小企業マネジメントスクール

検索

※右記QRコードからアクセスいただけます。



主催 千葉商科大学 地域連携推進センター

協力 生々塾(本スクール修了生の経営学習会)

お申し込み・お問い合わせ

千葉商科大学 公開講座 係

TEL:047-372-4111

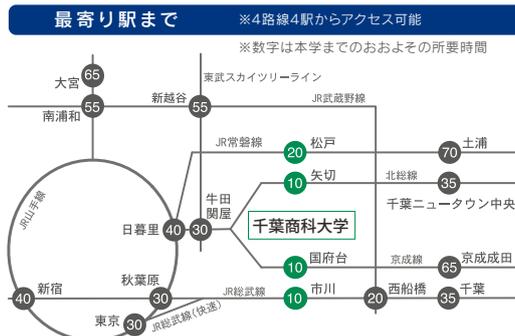
E-mail:cucr_open@cuc.ac.jp

http://www.cuc.ac.jp/

◎お申込みに際してお寄せいただいた個人情報は、
本講座に関する事務連絡以外の目的には使用
いたしません。

ACCESS

※ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。駐車場の用意はございません。



最寄り駅からのアクセス

- 《JR総武線 市川駅》(東京駅から快速で20分)
 ●徒歩20分
 ●(バス利用の場合/駅前京成バス1番のりばは松戸駅行または松戸営業所行に乗車10分)
 《京成線 国府台駅》(京成上野駅から30分)
 ●徒歩10分
 《北総線 矢切駅》(印西牧の原駅から27分)
 ●徒歩20分
 ●バス利用の場合/駅前京成バスのりば市川駅行に乗車10分
 《JR常磐線 松戸駅》(柏駅から15分)
 ●バス利用の場合/駅前京成バス1番のりば市川駅行に乗車20分
 ◎バス利用の場合、いずれも「和洋女子大学前」下車 徒歩3分

第1回

9月11日(土)

産 「コロナ危機に対抗する顧客共生経営の進化」

株式会社市川ビル／代表取締役社長 田平 和精

2020年2月、コロナによるクラスター発生について報道された弊社市川ビルは、すぐに休業し、館内を消毒。その後も入館客数大幅減が続き、自粛要請による休業・営業時間短縮等で痛手を受けたテナントの為に、従来とは異次元の発想で共存共栄策を模索・実行中です。本講演では、危機への対応経過と教訓、長期的な観点に立った「顧客共生経営の進化」について報告し、皆様方との知恵の交換を致したいと考えます。

学 「江戸時代の墓石に見る商いの知恵」

千葉商科大学政策情報学部教授／政策情報学部長 朽木 量

江戸時代は全国的な商品流通網が整備されていった時代です。墓石やその材料となる石材も例外ではありません。都市部から安く大量に出回ってくるようになる流通石材を前に、地域に根差した地方の石工たちはどのように対処していったのでしょうか。安い輸入商品に押されがちな現代の日本で中小企業が生き残る術について、江戸時代の石工の知恵と彼らの作った墓石から読み解きます。

第2回

10月9日(土)

産 「転生したらDXだった件」

株式会社ヒカリスシステム／代表取締役社長 金光 淳用

2020年、コロナの影響で経営する16店舗を1ヶ月半に渡って休業することを余儀なくされ、一時は倒産をも覚悟した中小企業が、緊急事態宣言が明けてみたら最新ITツール活用支援事業を立ち上げ、20社を超えるリピート客を獲得し、本業もV字回復軌道に乗せていた話。抽象的なイメージが先行する「DX」の本質と、中小企業が取り組むべき課題、具体的な解決手段の事例をご報告申し上げます。

学 「人々は先端技術とどのように向き合っているか」

千葉商科大学商経学部専任講師 小野 聡

IoT, XaaS, FinTech, FabLabなど、人間社会におけるものづくり、金融、流通、生活といった様々な場面に変化をもたらしている先端技術は、一方で、人間が肉眼では見えないものを見えるようにし、肉眼で見える虚構を構築できるようにしています。現在はいわば人間—機械—自然関係の過渡期であり、それがいかに変化するかについては議論が尽くされていないのです。本講義ではその手がかりのために実施した調査結果から、人々が先端技術とどのように向き合っているのかについて議論します。

第3回

11月13日(土)

産 「新型コロナウイルス感染防止対策から考える情報セキュリティ対策」

株式会社シンプルシステムズ／代表取締役社長 奥田 和弘

デジタル庁の創設が象徴する様にデジタル(IT・ネット)化が加速しています。その一方でコンピュータウイルス等の被害にあうのでは?という不安視する声もあります。実社会では、新型コロナに感染しない為にマスク、うがい手洗い、検温、密を避ける等の対策が定着してきています。これらの措置・考え方は情報セキュリティ対策にも有効です。コロナ禍だからこそ実感できる情報セキュリティ対策についてお話しします。

学 「公的空間とアーツ&エンターテインメント」

千葉商科大学政策情報学部教授／地域連携推進センター長 榎戸 敬介

世界の主要都市では、その中心業務地区(CBD)の再構築にあたり、都市の魅力を強化し、グローバルな都市間競争力を高めることが重要な都市政策課題となっています。そのひとつの手段として、公的空間におけるアートやエンターテインメントの導入が注目されています。カナダ・モントリオール市はそのユニークな取り組みを進める都市であり、これからの日本の都市およびCBDを考えるための貴重なモデルとして考察を行います。

第4回

12月11日(土)

産 「新米自営業者がコロナ禍で見たもの」

志縁経営司法書士事務所／代表司法書士・中小企業診断士 山田 直樹

22年勤めた会社を退職し、独立に舵を切って3年目の2020年。ようやく軌道に乗り始めた矢先のコロナ禍で、当事務所の事業環境も大きく変わりました。様々な変化の中で何が求め続けられ、不要となったものは何か。多くの事業者を支援して見たもの、感じたことを共有する機会となれば幸いです。

学 「地域・中小企業による公民連携事業の可能性」

千葉商科大学商経学部専任講師 藏田 幸三

SDGsの目標の中には、地域経済に関わる項目が複数あり、その担い手として地域・中小企業への期待は大きいといえます。金融庁・環境省によるESG投資の検討会も発足するなど、まちづくり、地域の持続性に関わる地域・中小企業との連携＝公民連携(PPP)が注目されています。本講義では先進的な事例をご紹介します、新しいビジネス分野としてのPPPの可能性を一緒に考えます。